

2019年度事業報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(敬称略)

第1 事業の状況

1 「公益目的事業」(公1)の実施状況

(1) 鑑賞会事業—芸術文化に関する鑑賞会の開催 (定款第4条第1項)

| | |
|-------------|------------|
| | 事業収入なし |
| 鑑賞会事業支出(予算) | 2,570,000円 |
| 鑑賞会事業支出(実績) | 1,943,329円 |

A 「音楽鑑賞会」の開催

- ① 北海道銀行本店ロビーにおいて、北海道を代表する芸術家の鑑賞会シリーズとしてコンサートを1回開催した。(主催)

【道銀文化財団 ARTIST BANK 2019 北海道銀行本店ロビーコンサート】

企画名：岩崎弘昌オーボエリサイタル

日時：2019年10月4日(金) / 18:00 開演

会場：北海道銀行本店営業部1階ロビー

出演：岩崎弘昌(オーボエ)、前田朋子(ピアノ伴奏)

入場数：220名

入場料：無料

内容：北海道の音楽界を牽引してきた音楽家を招いてのコンサートを開催した。

第2回目となる今回は、平成5年度第3回道銀芸術文化奨励賞受賞者であり、札幌交響楽団副主席オーボエ奏者である岩崎弘昌が出演した。

クラシックの名曲や北海道にちなんだ懐かしい曲まで、多彩なプログラムに暖かなトークを交え、名演奏に加えて出演者の人柄が伝わる感動的なコンサートとなった。

- ② 北海道銀行本店ロビーにおいて、現在北海道で精力的に活動する中堅音楽家による、クラシックファン拡大を目的とした「オトナのためのコンサート」を2回開催した。(主催)

【道銀文化財団 CLASSIC ♪ FAN#1・2 北海道銀行本店ロビーコンサート】

- (あ) 企画名：Magnolia～きよらかな翼～

日時：2019年12月18日(水) / 18:00 開演

出演：仲村優美江(フルート)、武川奈穂子(ハーブ)

入場数：230名

- (い) 企画名：クラシックで楽しク

日時：2020年2月13日(木) / 18:00 開演

出演：高橋雅子(ソプラノ)、岡元敦司(バリトン)、奥出かおり(ピアノ)

入場数：260名

(共通)

会場：北海道銀行本店営業部1階ロビー

入場料：無料

内 容：これまで、本店ロビーを会場とした熟練音楽家と美術館を会場とした若手音楽家の出演によるコンサートシリーズを展開してきたが、中堅世代として現在活躍中の音楽家たちからも財団主催のコンサートに出演を希望する声が多く、さらに鑑賞者から、雰囲気もアクセスも良い本店ロビーで、もっとたくさんコンサートを聴きたいという声が多く寄せられたことから、今年度より新規事業として開始した。

いずれのコンサートも出演者の知名度と集客力により満席となり、高い芸術性と同時に、豊富な演奏経験から鑑賞者への心配りにも余裕があり、最後まで会場が湧く、充実したコンサートだった。

- ③ 北海道立釧路芸術館において、釧路・根室管内ゆかりの若手音楽家によるコンサートを1回開催した。(主催)

【Art Ensemble#10～Concert～ 北海道立釧路芸術館コンサート】

企画名：歌とフルートが描く情景

日 時：2019年11月2日(土) /14:00 開演

会 場：北海道立釧路芸術館 アートホール

出 演：中のぞみ(ソプラノ)、大崎明莉(フルート)、木原奈津子(ピアノ)

選 考：釧路・根室管内出身もしくは在住の若手音楽家(グループ)を公募により選考

入場数：150名

入場料：無料

内 容：これまで北海道で活躍する若手音楽家に演奏機会を提供するため、北海道立近代美術館を会場に演奏会を開催してきたコンサートを地方の道立美術館に拡大したシリーズの2回目。

地元出身・在住の若手音楽家がトリオを組み、生まれ育った地元住民への感謝をこめた演奏を披露した。近年は札幌でも活動の幅を広げその成長ぶりが目覚ましい出演者たちのステージに、応援してきた地元のファンからは暖かい拍手が送られ、鑑賞者、出演者双方にとって充実した演奏会となった。

- ④ 北海道立近代美術館において、北海道ゆかりの若手音楽家によるコンサートを2回開催した。(主催)

【Art Ensemble#11～Concert～ 北海道立近代美術館コンサート】

(あ) 企画名：城分陽介 ミニ・リサイタル～変奏曲の愉しみ～

日 時：2019年12月14日(土) /12:00 開演

出 演：城分陽介(クラリネット・ピアノ)、西藤亜美(ピアノ)

入場数：300名

(い) 企画名：心に響く、二管一弦の調べ

日 時：2020年1月11日(土) /12:00 開演

出 演：代田将也(トロンボーン)、山本千尋(トランペット)、三春茉奈(ピアノ)

入場数：310名

(共通) 選 考：北海道在住の若手演奏家(グループ)を公募により選考

会 場：北海道立近代美術館1Fホール

内 容：出演者はいずれも、会場・客層に合わせて、クラシック曲を軸に多彩なプログラムを構成し、丁寧に心を込めて準備した。それぞれのタイトルに込められた思いの通り、満席の鑑賞者を前に若手音楽家らしいフレッシュな演奏を披露した。出演者、鑑賞者共に充実した演奏会だった。

入場料：無料

- ⑤ しりべしミュージアムロードに加盟する後志地区5美術館ロビー等において、北海道ゆかりの若手音楽家によるコンサートを計5回開催した。(共催/実行委員会)

【しりべしミュージアムロード・コンサート2019】

企画名：室内楽の魅力～世界の四季より

主催：しりべしミュージアムロード・コンサート実行委員会（当財団と開催5館）

日時：2019年9月7日(土)・8日(日)

会場：小川原脩記念美術館（倶知安町）

有島記念館（ニセコ町）

木田金次郎美術館（岩内町）

一般財団法人荒井記念美術館（岩内町）

西村計雄記念美術館（共和町）

出演：北濱侑樹（フルート）、中倫子（ヴァイオリン）、小笠原いづみ（コントラバス）

選考：北海道在住の若手音楽家（グループ）を公募により選考

入場数：490名（5館合計）

入場料：無料または要観覧料

内容：オーケストラや地方公演等の経験豊富な若手音楽家たちが、各館の趣あるロビーやホールにおいて芸術性の高い演奏を披露した。ピアノ伴奏がない中、珍しい編成のトリオながらクラシック曲を中心にあらゆるジャンルの曲を自在にアレンジし、安定した演奏を披露した。各館で地域住民や旅行者など多くの方々が後志の自然と美術作品の中に豊かな音楽を楽しんだ。

また、今年度初の試みとして2日目の2公演には旅行会社に持ち込んだ企画の札幌市からの日帰りバスツアー客43名が参加した。申し込み段階からキャンセル待ちが出る人気ぶりで、当日は内容の違う2プログラムをそれぞれの会場で楽しみ、次回にも期待する声が多く聞かれた。

コンサートの入場と合わせて、美術館の入館者増にも大きく貢献した。

B 「美術鑑賞会」の開催

- ① 北海道銀行本店ロビーにおいて、北海道を代表する芸術家の鑑賞会シリーズとして美術展を1回開催した。(主催)

【道銀文化財団 ARTIST BANK 2019 北海道銀行本店ロビー展】

企画名：藤倉英幸展 あの日の風景たち

会期：2019年8月5日(月)～9月30日(月) 平日9:00～15:00

会場：北海道銀行本店営業部1階ロビー

出展者：藤倉英幸（イラストレーター）

入場料：無料

内容：北海道の美術界を牽引してきた美術家を招いてのロビー展を開催した。

第2回目となる今回は、北海道を代表するイラストレーターとして知られ、過去には北海道銀行発行の情報誌のデザインも手掛けた藤倉英幸の貼り絵作品を中心に展示した。

昨年、作品が有島記念館（ニセコ町）に多く寄贈されたことから、同時期に同館でも記念展を開催しており、本ロビー展には展示全般に渡りニセコ町と伊藤大介主任学芸員にもご協力いただいた。

印刷物として目にすることの多い作品の実物が、実は貼り絵であったことを初めて知った鑑賞者も多く、パッケージデザインや貼り絵の制作工程をパネルにして紹介するコーナーも人気で、リピーターや口コミでの来場者が日を増すごとに増え、最終日まで多くの鑑賞者の目を楽しませた。

- ② 「らいらっく・ぎやらりい」において、北海道ゆかりの美術家による美術展を1回開催した。
(主催)

【道銀文化財団企画展 ■CUBE■2019】

企画名：水のもり 上嶋秀俊

会 期：2019年12月24日(火)～2020年1月12日(日) / 年末年始を除く 8:00～19:00

会 場：「らいらっく・ぎやらりい」(北海道銀行本店ビル1階)

出展者：上嶋秀俊(絵画・インスタレーション作家)

入場料：無料(ギャラリーの外からガラス越しの鑑賞)

内 容：年末年始を利用し、立体・空間造形を手掛ける美術家による、施錠されたギャラリーを一つの展示ケースに見立てたインスタレーション作品展を開催している。小樽市出身・在住の美術家で、近年精力的に制作・発表を続けている上嶋秀俊は、「らいらっく・ぎやらりい」に美しい「水のもり」を出現させた。ギャラリーの特徴である大きなガラス面を活かし、ガラスの外から作品を鑑賞する美術展は、鑑賞目的以外の来訪者にも往來の度に目にする作品展示に足を留め鑑賞することができ、アクセスの良さから多くの道民がより気軽に、身近に新しい美術鑑賞の楽しみ方を知る機会となった。美術家には、新たな空間展示を創造する貴重な機会となった。

- ③ 北海道銀行本・支店ロビーにおいて、北海道で美術を学ぶ学生や高校美術部生の作品展を通年で開催した。(北海道銀行本支店との共催)

【北海道銀行本店ロビー展】

会 期：2019年4月～11月 / 平日 9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部ロビー

出展校：札幌大谷大学、札幌武蔵野美術学院、星槎道都大学、北翔大学、北海道教育大学
岩見沢校

入場料：無料

内 容：公募展受賞作品など各校の選抜作品を、公共の場ともいふべき銀行ロビーで展示し、より身近に道民が美術鑑賞を楽しむことができた。道内で美術を学ぶ学生たちの創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。

【北海道銀行本店ロビー展】

(あ) 企画名：現在(いま)を見つめる眼 Vol.13 市立札幌旭丘高等学校受賞記念
第19回全国高等学校版画選手権大会(はなが甲子園)優秀作品展

会 期：2019年5月8日(水)～31日(金) / 平日 9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部ロビー

出展校：市立札幌旭丘高等学校(美術部)と道外4高等学校(美術部)

入場料：無料

内 容：同校が「はなが甲子園」に初出場・初優勝したことから、大会実行委員会より、同校を含む全国優秀賞5点(木版画)を借り、北海道初となる移動展を開催した。多くの道民が高校生作品とは思えぬ見事な技術力と表現力に驚き、感動した。また、高校美術部生の創作活動への励みともなった。

(い) 企画名：現在(いま)を見つめる眼 Vol.14 ～全国にはばたく北海道の高校生たち

会 期：2020年1月6日(月)～3月25日(水) / 平日 9:00～15:00

会 場：北海道銀行本店営業部ロビー

出展校：北海道北広島高等学校(美術部)他、道内高等学校計10校

入場料：無料

内 容：2020年度高文連全国高等学校総合文化祭美術工芸部門推薦の平面作品10点を展示し、多くの道民が高校生作品の芸術性の高さに感動した。高校美術部生の創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。

【北海道銀行支店ロビー展】

会 期：通年 / 平日 9:00～15:00

会 場：北海道銀行宮の森パーソナル支店、屯田パーソナル支店、旭ヶ丘支店、中央支店
(以上札幌市)、大麻支店(江別市)、岩内支店(岩内町)

出展校：札幌西高等学校、札幌北陵高等学校、市立札幌旭丘高等学校、札幌啓成高等学校、
大麻高等学校、江別高等学校、岩内高等学校

入場料：無料

内 容：各校美術部生の作品 1～2 点ずつを概ね 1 か月ごとに作品を入れ替えながら展示し、多くの地域住民が地元の高校生の感性豊かな作品を鑑賞した。鑑賞者にとっては、新しい作品を楽しみに来店し、高校美術部生も展示を目標に意欲を持って取り組み、創作活動への励みとなる発表の機会を提供した。

(2) 助成事業—その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第 4 条第 4 項)

| | |
|------------|-------------|
| | 事業収入なし |
| 助成事業支出(予算) | 2,090,000 円 |
| 助成事業支出(実績) | 2,035,970 円 |
| *うち助成金 | 1,950,000 円 |

北海道を拠点に活動する芸術家や芸術文化団体を対象に、その優れた芸術創作活動を支援するために「道銀芸術文化助成金」を交付した。

- ① 2019 年度事業分は、助成対象先 31 件に助成金を交付した。

当初 32 件の予定だったが、うち音楽の 1 件が申請者の都合で辞退した。

3 月 27 日開催予定のコンサート 1 件は、新型コロナウイルス感染の拡大防止の観点から開催日を 2021 年度に延期した。すでに助成金は交付済だが、既支出額が助成額を超えていることから返還を求めない。

- ② 2020 年度事業分は、公募・選考を行い、対象事業を 2019 年度第 3 回理事会で決定した。

公 募：2019 年 10 月 25 日～12 月 25 日(募集要項は別添の通り)

選考委員会：2020 年 1 月 29 日(水)北海道銀行本店ビルにて開催

前川公美夫(選考委員長)、八木幸三、

國松明日香(選考副委員長)、柴勤(以上 4 名)

応募総数：59 件(音楽部門 39 件、美術部門 20 件)

選考の結果：候補者 38 件(音楽部門 25 件、美術部門 13 件)を選出し、決定した。

(3) 奨励事業—芸術文化に関する優れた活動を行うものに対する顕彰 (定款第 4 条第 2 項)

| | |
|------------|-------------|
| | 事業収入なし |
| 奨励事業支出(予算) | 1,180,000 円 |
| 奨励事業支出(実績) | 1,156,735 円 |
| *うち賞金 | 1,000,000 円 |

優れた芸術文化活動により将来を嘱望され、北海道の芸術文化の進展に貢献する芸術家に対して「道銀芸術文化奨励賞」を贈呈し、賞金を授与した。

【2019 年度 第 29 回道銀芸術文化奨励賞 選考委員会】

開催日：2019 年 10 月 24 日(木)

会 場：北海道銀行本店ビルにて開催

出席：前川公美夫（選考委員長）、國松明日香（選考副委員長）、
本堂知彦、八木幸三、苫名真、佐藤康平

【2019 度 第 29 回道銀芸術文化奨励賞 贈呈式】

開催日：2020 年 2 月 18 日（火）

会場：北海道銀行本店ビルにて開催

受賞者：音楽部門 鎌倉亮太（ピアノ・指揮）

美術部門 八子直子（絵画・インスタレーション）

1 名につき表彰楯と賞金 50 万円を授与した。

その他：音楽部門受賞者は 2020 年 5 月 27 日開催の「第 34 回道銀ライラックコンサート」にて札幌交響楽団と共演予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催中止となった。

美術部門受賞者はギャラリー事業として当財団「らいらっく・ぎやらりい」にて受賞記念展を開催した。（後記参照）

（4）ギャラリー事業—芸術文化に関する創作発表と鑑賞機会提供のための施設の管理運営 （定款第 4 条第 3 項）

| | |
|---------------|-----------|
| ギャラリー事業収入(予算) | 903,000 円 |
| ギャラリー事業収入(実績) | 952,500 円 |
| ギャラリー事業支出(予算) | 310,000 円 |
| ギャラリー事業支出(実績) | 191,329 円 |

北海道銀行から施設の無償貸与を受け、北海道銀行本店ビル1階の『らいらっく・ぎやらりい』を運営した。2月28日に北海道知事より「緊急事態宣言」が出されたことを受け、一部期間の利用を出展者からの申し出により中止した。

- ① 一般利用者からの予約を先着にて受付け、43 週の個展、グループ展等へ貸出した。
3 月の貸館については 2 週にわたりキャンセルが発生したが、いずれも新型コロナウイルス感染症の拡大が原因のことからキャンセル料は徴収しないものとした。
- ② 道銀芸術文化奨励賞受賞を記念して、主催により企画展を開催した。

企画名：第 29 回道銀芸術文化奨励賞受賞記念「八子直子展 一回顧述一」

会期：2020 年 2 月 18 日(火)～3 月 1 日(日) 10:00～18:00

内容：こどもをテーマにした絵画やオブジェなどの立体作品をインスタレーション作品のように展示し、美術愛好家のみならず広く多くの鑑賞者が訪れ感動を共有した。会期中はほぼ作家自らが在廊したため、鑑賞者にとっては世界観をより身近に体感することができ、興味深く作品の説明に聞き入っていた。多くの鑑賞者との新しい出会いは、今後の創作発表活動へつながる貴重な機会となった。
当初の会期を 3 月 1 日までとしたが、ギャラリー内への立入りは 28 日（金）をもって終了し、29 日と 1 日は施錠の上照明を点灯し、ガラス越しの作品鑑賞とした。

入場料：無料

入場数：370 名

2 「その他事業」(他1)の実施状況

連携支援事業—その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第4条第4項)

| | |
|--------------|----------|
| | 事業収入なし |
| 連携支援事業支出(予算) | 300,000円 |
| 連携支援事業支出(実績) | 300,000円 |

道内各分野の芸術文化団体の活動を支援するために、その主催する事業に対し協力した。

音楽関係：公益財団法人札幌交響楽団の演奏活動を支援し、寄附及び協賛をした。

2019年4月 「パトローネージュ会員」年会費として200,000円。

2020年1月 「新進演奏家育成プロジェクト」協賛金として100,000円

3 事務局の管理・運営(法人会計)の実施状況

各事業の実施に向けた事務局の管理運営を行った。

| | |
|-----------|----------|
| | 事業収入なし |
| 管理費支出(予算) | 390,000円 |
| 管理費支出(実績) | 299,072円 |

4 2019年度収支決算(2020年3月31日現在)

(単位：千円)

| | 予 算 | 決 算 | 備 考 |
|-----------|-------|-------|-----|
| 収入合計 | 6,524 | 6,573 | |
| (公1)事業費支出 | 6,150 | 5,327 | |
| (他1)事業費支出 | 300 | 300 | |
| 法人会計支出 | 390 | 299 | |
| 支出合計 | 6,840 | 5,926 | |
| 当期収支差額 | △316 | 647 | |

※ 2019年度末資産

(単位：千円)

| | 予 算 | 決 算 | 備 考 |
|-------|---------|---------|-----------------|
| 前期繰越金 | 338,737 | 338,737 | |
| 現金預金 | 4,297 | 4,297 | 普通預金 |
| 特定資産 | 4,130 | 4,130 | 定期預金(公益事業活動資産) |
| 特定資産 | 10,000 | 10,000 | 定期預金(鑑賞会事業活動資金) |
| 基本財産 | 320,310 | 320,310 | 投資有価証券 |
| 次期繰越金 | 318,421 | 336,630 | |
| 現金預金 | 3,981 | 4,944 | 普通預金 |
| 特定資産 | 4,130 | 4,130 | 定期預金(公益事業活動資産) |
| 特定資産 | 10,000 | 10,000 | 定期預金(鑑賞会事業活動資金) |
| 基本財産 | 320,310 | 317,556 | 投資有価証券・普通預金 |

* 予算に記載した次期繰越金の基本財産額は、前期繰越金から変動のないものとして表示する。

* 決算に記載した次期繰越金の基本財産額は、決算日の市場価格に基づく時価法により算出している。